

中和地区3市1町障害者自立支援協議会 議事録  
令和4年度 第3回こども部会

開催日時 令和4年10月21日(金) 10:00~

開催場所 葛城市福祉総合ステーション2階会議室

【配布資料】

次第

【出席者】

香芝市社会福祉協議会2名、葛城市社会福祉協議会1名、相談支援センターふわら1名、生活支援センターもちつもたれつ1名、愛の集い学園1名、生活支援センターしゅ〜く1名、葛城育成会1名、葛城市こども・若者サポートセンター1名、大淀養護学校1名、西和養護学校1名、大和高田市1名、香芝市1名、広陵町1名、葛城市2名

1、次回のこども部会で開催する葛城市こども・若者サポートセンター勉強会に向けて、不登校児・引きこもり児について知りたいことを出し合った。

- ・不登校児に外出の機会を作ってあげたい。障害児通所事業所や適応指導教室以外の外出先や居場所があれば知りたい。
- ・小学校低学年から不登校の女子中学生がいて、放課後等デイには週1回行っているが、支援されることを嫌がり、人の好き嫌いも激しく対応できる支援員が限定される。外へ連れ出すタイミングや声かけで良い方法があれば知りたい。
- ・こども・若者サポートセンターが長期的な関わりをする中で、うまくいったケース、困難だったケースを聞きたい。
- ・今年度から幼稚園に通い始めた年少児が音に敏感で、集団生活にしんどさを感じ、2学期から不登園になっている。幼稚園からの毎日の電話や、家まで迎えに来ることに母親がストレスを感じ、外部とのつながりを遮断し始めている。学校や園との良い連携方法が知りたい。
- ・不登校児の家庭には、子どもを学校に行かせる力がない。相談員ひとりが関わるだけでは状況を変えることは困難。行政と一緒に学校に働きかけることで前進できると思う。各市町村において子育て包括支援のシステムがどのようになっているか、今後どうなっていくか（どこまで動いてくれるか）を知りたい。
- ・小学部では、行き渋りが見えた時点でケース会議を開いている。
- ・障害のない不登校児をどのように支援していけばいいか知りたい。通信制の高校で勉強はしているが外に出られていない子がいる。どこかに行ってみようとか、大学進学を考えた時に同じような境遇の人が集まる場所や事業所があれば知りたい。
- ・引きこもりの人の話を聞くと、幼少期に学校でつまずいた経験をもつ人が多いので、幼少期に適切な支援を受けることが重要だと思う。不登校の要因は様々だと思うが、パターン、類型、原因（内的要因・外的要因）等があれば聞きたい。
- ・不登校児に対して学校はどのようなアプローチをしているのか、葛城市の場合、学校はどの時点でこ

ども・若者サポートセンターに相談しているのか。教育部門の組織体制を知りたい。

- ・昔は、不登校児を無理やり学校に行かせようとしていたが、今は無理に行かせないという話を聞く。個々のケースにもよると思うが、行かせるか行かせないかを見極めるポイントを知りたい。
- ・引きこもりの人には長期的な支援が必要だと思うが、社会復帰のきっかけづくりが難しい。卒業などのきっかけがある人はいいが、それがいない人のきっかけづくりやアプローチ方法を知りたい。

2、不登校児・ひきこもり児についての事例共有を行った。

○ 第4回こども部会 『こども・若者サポートセンター勉強会』

令和4年12月16日(金) 10:00～ 葛城市福祉総合ステーション2階会議室

『こども・若者サポートセンター勉強会』